

### 第3回総務文教常任委員会会議録

- 1 開会日時 平成25年4月24日（水）午前11時10分
- 2 閉会日時 平成25年4月24日（水）午前11時22分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員  
1 番 佐々木雄司君      2 番 光成 良充君      3 番 澤 健君  
10 番 松田 勲君      11 番 北川 勝義君      16 番 下山 哲司君
- 5 欠席委員  
な し
- 6 事務局職員出席者  
議会議務局長 富山 義昭君      主 任 大饗 剛君
- 7 協議事項 1) 委員長、副委員長の互選について  
2) 委員会の閉会中の継続調査及び審査について
- 8 議事内容 別紙のとおり

午前11時10分 開会

○議会事務局長（富山義昭君） それではただいまから総務文教常任委員会の委員長、副委員長の互選を行っていただきますが、赤磐市議会委員会条例第10条第2項の規定によりまして、委員長、副委員長ともにいない場合は年長の委員が委員長の職務を行うとございます。この中で年長委員の下山委員にお願いしたいと思います。

○委員（下山哲司君） それでは、委員長の互選について互選の方法はいかがいたしましょうか。

はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 立候補及び推薦、私はそういう考えを持っております。一応原則は立候補ですけど、立候補プラス推薦と。

○委員（下山哲司君） それでは他に、よろしいですか。

〔「よろしい」と呼ぶ者あり〕

○委員（下山哲司君） それでは立候補で。

○委員（北川勝義君） いや、ちゃうちゃう、立候補プラス推薦……。

○委員（下山哲司君） 立候補と推薦とどちらにいたしましょう。一応選考基準としては立候補が優先、順位は優先なんです。

○委員（北川勝義君） よろしいか。

○委員（下山哲司君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 僕は奥ゆかしい人もおるから、立候補しとうてもようせんとか、流れでいうたらようやらんというのもあるから、立候補プラス推薦いうのしときゃ原則的には立候補いうのは当たり前で、市議出るのに人が推薦して出りゃへん、自分の考えじゃから、最後はいけなんたら推薦された方がよう受けませんで言うたらもう終わりのこっちゃから、一応そういうことでやっていただきてえと……。

○年長委員（下山哲司君） 委員会の中ですから、そういう柔軟性はありますんで結構です。

それでは立候補される方は。

はい。

○委員（北川勝義君） 前回、総務文教委員会をやらせていただいとります。いろいろな方があって、いろいろな方法がありましたが一番多い組織の中でなかなか難しかったんじやけど、なんとか無事過ごせました。この中でおるんで、ぜひやらせていただきたいと思とります。

私の考えは、皆様がああじゃこうじゃという話もありますが、済んだことを巻き返すつもりもありませんが、今現在この中におられる方で刑事告訴とかいろいろ受けて今やられとる方もおられます。ただ、そういう方が出られたら欠席するということもありますんで。

それとまた、私ごとで過去済みましたが百条委員会もかけられましたんで、私の場合は終わりましたが、終わったというんじゃないですけど。ひょっとしたらそうしたことも百条とか

かけるようなこともあったり、可能性がなきにしもあらずということなので、そういうこともありまして、本来は私は今回出るつもりはありませんでしたが、出させてやらせていただきたい。

長くなりますんですけど、すぐ終わりますが、特に学校教育の中の小中学校、特に吉井町で言うたら、吉井の小中学校、今年中学校の入学数が今この赤磐の教育委員会に、教育部局にメスを入れるいうんじゃないですけど、赤磐は教育長が前回の市長の井上市長がおって、土井原教育長ですけど、考え方は中学校区へ一つの小学校も中学校区でまとめるということをやられている、私はそういうことは皆さんの意向を聞いてやらなくてはいけない。それから切磋琢磨していただきたいということでスクールバス等をするようになるんじゃないと、流れで中学校区にこだわらない一つの大きい意味のまとまっていかなんだら、これから少子化になるんでこのところのぜひ赤磐市の中が勉強ができるというようなことの学校にしていきたいためにこの総務文教委員長に出たいと思っております。

それとまたもう一点は、これは総務文教にかかわるかどうかわからんですけど、災害のときの危機管理等いろいろある中で、ぜひ格調高い教育、文化つきたい市民ホールを建設していきたいという気持ちもありますんで、ぜひこれやらせていただきたいと思います。

以上です。

○委員（下山哲司君） 私もここにおってあれなんですけど、立候補させていただきたいと思います。

それから、先ほど告訴がどうのこうのと言われるんですけど、全く議員をやっていく上で問題はありませんで、そういうことでご理解をいただけたら。

私がそう言われるんでしたら、北川委員の場合は起訴猶予という無罪でない判決をいただいとる方にそう言われる言い方をされるのはちょっと私もナンセンスなんで。

それから私も旧町で8年間総務委員長をやらせてもろうとりますし、それからここへ来て4年やらせていただいとります。その間、何も問題が起きとるわけございませんで、ここで再度メンバーも変わられたことですし経験を生かしてやらせていただきたいというふうに思いますのでよろしゅうお願いします。

それでは2人の立候補になるんで……。

○委員（北川勝義君） 他はねえですか。

○委員（下山哲司君） 他はございせんか。

それではどういう方法、一応2人のときには選挙という方法になるんですけど、よろしいですかそれで。

それでは無記名投票でお願いいたします。

〔投票及び開票〕

○議会事務局長（富山義昭君） 票数は全部で6票です。北川委員が4票、下山委員が2票と

いうことでございます。

○委員（下山哲司君） ありがとうございます。

ただいまそういう、北川委員が4票、下山が2票でございますので、北川委員が当選されましたので委員長の席をお願いいたします。

〔委員長交代〕

○委員長（北川勝義君） 失礼します。それでは、ただいま選挙の結果委員長になりました北川です。公平公正な委員会運営をしていきたいと思ひます。皆様にも御協力をよろしくお願ひいたしたいと思ひます。

それでは副委員長の互選について互選の方法はいかがいたしましうか。

○委員（下山哲司君） 委員長のやりやすい方法で、委員長の指名でも結構ですけど。

○委員長（北川勝義君） わかりました。今委員長のやりやすいように指名と言われたんですけど、そのようなことはいたしません。互選方法の決定として指名推薦とかやっていたかと思ひます。先ほどの私の考えでは委員長の決めたときと同じで、立候補が原則ですけど推薦も含めてやらせていただければと思ひます。

皆さんどうでしょうか。よろしければ拍手をお願いします。

〔賛成者拍手〕

○委員長（北川勝義君） それでは副委員長にしたいと思ひます。

立候補される方おりませんか。

推薦の方おりませんか。

それじゃあ、どちらもないということなので先ほど下山委員が言われたもので、私のほうが指名させていただきたいと思ひます。

よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（北川勝義君） それでは僭越ですが、松田さんに副委員長をお願いしたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

原則としまして委員長、副委員長が議運のほうにも出席させていただこうと思ひますので……。

○委員（下山哲司君） いやいや……。

○委員長（北川勝義君） ちょっと黙って、ちよつちよつちよつと黙って、ちよつ先に。

そういうつもりでおります。しかしながら、今そういうことはありませぬ、途中ちゃちゃ入れられとるんですけど、一応原則はどこも委員長、副委員長が出とるんですけど、そういう場合じゃない場合もあります。委員長と副委員長じゃなくてもいいんですけど、私の考えはそういうつもりがあります。そのことも申し添えておりますので、また議運のときにつきましては出

られる方を選別していただければいいと思っております。そのときの意向までにしてください。

○委員（下山哲司君） はい、委員長。

○委員長（北川勝義君） はい、下山委員。

○委員（下山哲司君） 今さっき全協の中で議運のメンバーも選考してと言われたと思うんですが、委員長と……。

○委員長（北川勝義君） じゃから、わかりました。今言いよんのは、私としたら誰も副委員長に立候補する人がなかったので、指名してくれというのは下山さんあなたが言った意見に沿ってやらしていただくということで、やった中で松田さんをさせていただきますと言ってしたん。

○委員（下山哲司君） それは結構です。

○委員長（北川勝義君） せえでその中でやられた方が原則的に言やあ議運の中に出るのは委員長、副委員長が出られると、僕の考えはこうですよという話をしたん。それから今下山さん異議申し立てじゃあないけど、議運のほうはメンバーを選んでくださいと言うん、それはそのときにしてくださいと言うん。僕の気持ちを言うただけですから了承ください。

それでは、松田副委員長、こちらの席についてください。

〔副委員長 松田勲君 着席〕

○委員長（北川勝義君） それでは、松田副委員長、一言お願いします。

○副委員長（松田 勲君） ただ今、副委員長という職をいただきました。しっかり委員長を支えながら、また総務文教が本当に皆さん一致団結していけるように頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いします。

○委員長（北川勝義君） ありがとうございます。

それでは続きまして、次に委員会の閉会中の継続審調査及び審査について確認をお願いしたいと思います。1枚めくっていただいたらあります。お手元に配付しております表のとおり議長に対し閉会中の継続調査及び審査の申し出をいたしたいと思っております。これでよろしいでしょうか。一応お目通しいただきたいと思います。1の行財政改革についてからほかの他の厚生委員会、産業建設委員会に属さない事項については全部この総務文教常任委員会が担うということでございます。

よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（北川勝義君） それではこのように議長のほうへ申し出をいたします。

それではこれで閉会といたします。

午前11時22分 閉会